

時事新報

銀貨下落の影響

世界中に銀貨の下落を催はしたるは凡そ二十年來のものにして其原因を尋ねれば諸銀の産額年々増加して金に對するの比例を失ひ次第に價を落して此有様を呈したるものなり事實に明白なる所なれども昨今に至りて遂に大變動を起したる由は印度の政府が貨幣の制度を改めて其通用銀ルーピーを金貨十六片と同格のものに定めると同時に自由鑄造を廢したるが爲めに世人の知る如く印度は金貨國なる英國の屬地なれども其通貨はルーピーと名くる銀貨を使用して純然たる銀貨國なりしに近來銀貨下落の爲めに非常の困難に陥りたる次第は外ならず印度の政府は年々英の國に仕拂ふべき金額を始めとして諸般の政費何れも實際に減額せられたると同様の姿を呈し財政の困難一方ならず殊に官吏の如きは何れも英國より一時在動するものなれば恰も給料を減せられたるの姿にして現に其子女を本國に留學せしめ置きたるものも費用に差支へて止むを得ず呼返さざるを得ざる等の難澁は非常にして不平の聲甚だ高し凡そ是等の困難を免れんとするに政府の歳入を増加するの外に策なければ印度の租稅は從來甚だ輕からずして此上の増課は實際に行ふ可らず是に於てか幣制變更の手段に出でルーピーを十六片の價格に引上げたるとなり本來ルーピーは凡そ我銀貨四十五錢にして正しく英貨十四片餘の價なりしを遂に十六片の價に付して恰も一種の補助貨幣として通用せしめると同時に一方に於て自由鑄造を廢したるは其名義の如何に拘はらず實際に金貨本位の制度を採用したるものに外ならず之が爲めに益したるは印度の政府と官吏とにして一般の人民は非常の損害を受けたる次第なれども其次第は兎も角として從來銀貨國なりし印度が一變して純然たる金貨國と爲り一切銀の需用を止めたるに就ては自から世界の銀價に影響してまず下落的の勢を助けたるも固より怪しむに足らず即ち過般來爲替相場の下落したる所以にして尙ほ其外に注目すべきは目下米國に於ける銀問題の始末あり同國は先年來銀價維持の政策を執り所謂シャーマン法として毎月四百五十萬オンスの銀塊を政府に買入れ以て其價を維持せんと謀りたれども銀の下落は世界の趨勢にして毫も其效なきが故に同法廢止の説次第に盛なる折柄、恰も印度の幣制變更の餘勢に接して事の急を告げたる者か來八月七日より臨時國會を開き其法の存廢に就て議する所ある筈なりと云ふ其結果は今日より豫知す可らずと雖も或人の説に據れば同國にては所謂ルヴァーメンとして銀業者の勢力頗る盛なればシャーマン法の廢止も中々容易ならざる可し或は目下の輿論止むを得ずして同法の廢止に決するも金貨本位などとは思ひも寄らぬものとて或は善後の策として其名を金銀兩本位にして實際には銀本位の制を採用するに至るやも知る可らずとの推測もなきに非ざれども假令米國に於て銀本位の制を採用したりとて世界の大勢は如何ともす可らず銀價の維持は到底難しきものとならん況んやシャーマン法の如きよしや廢止に至らずとすも實際には何の効能もなきとならん右の如き次第にして銀價の下落は世界一般に影響する所少なからざる中にも銀貨國なる我日本國の如きは最も甚

ださきものにして昨今の爲替相場は六十弗即ち金の百圓は銀の百六十六圓六十六錢に相當するの割合と爲り今後の下落は圓の可る次第に容易ならざる變動にして目下世間に議論の喧しきは謂れなきに非ず此事に就ては我輩に於ても自から説あり銀價の下落は日本の爲めには毫も思ふに足らざるのみか斯る變動の間より面白き時節なれ外に向ては我輩商賈を獎勵し内に於ては物産工業を發達せしむるの好機會なればますます進んで此機會を利用せざる可らずとて毎度意見を陳述したるものとされども此頃世間にて理財家もしくは學者と稱せらるる人々の説なりと云ふを聞くに銀價の下落を以て我國の爲めに不利の大なるものとして杞憂を懷くもの少なからざるが如し其説に曰く銀貨下落の爲めに我國より外に輸出する品物は好まざるを得ず利するが如くなれば是れは下落の實を忘れたるの計算にして實際は損失を免れざるものなり、曰く輸出の増加するは喜ぶ可きが如しと雖も其代りに世界に不用の銀はますます日本に流込みて國內に銀の充溢を致す可し曰く銀價下落の爲めに商賈工業の繁昌は一時の虚影にして眞實の景氣に非ず其結果は不換紙幣濫發の爲め一時の景氣を催はしたると同様にして忽ち反動を見るに至る可し云々と一々不利の點を計へ去りて遂に日本の幣制を改めて金貨國と爲すに非ざれば禍を免る可らずと主張するものありと云ふ驚入りたる次第にして其説を取るに足らずとすも世人の動もすれば或は易き所なれば利害を明にして事の真相を分明ならしむるは目下の急なる可し依て我輩は是等の點に就き次第に評論して世人の參考に供する所あらんとするものなり

雑報

○相馬家事件 にかき錦織某の告訴は受理する所と爲りて告發の手續に及びたりと云ふ其一方に被告人は告訴人に對して逕告の反訴を爲したりと云ふ其曲直何れに歸するや今日に於ては知る可らずと雖も世間に云々するが如き怪事は決して今の社會に有り得べき事に非ず取るに足らざるものと勿論なりしとして只その事に就て着目す可きは故賊胤子に病理上に於て果して眞實の發狂人なりしや否やの一點なり瘋癲病の鑑定は醫家に於ても最も困難事とする所にて例へば酒の上にて非常の亂暴を働き又は癡癲強して動もすれば物を抛つけ人を傷くる等傍より見れば純然たる狂人なれども病理に於ては眞實の發狂と認む可らざるものある其反對に平生は極めて沈鬱靜謐の舉動、毫も常人に異ならずして却て發狂の實あるものあり殊に癡癲の爲めに時々不穩の舉動を演じて人を驚かすは高貴の人によくあるの常にして恰も一種の遺傳とも云ふ可きものなりといふ扱ふの種のの人に對する取扱方は如何と云ふに若しも始めより狂人視して鐵欄の中に押込むか又は癡狂院なせに入れば忽ち其發狂を促して眞實の狂人たる人に類したる取扱ひも或は一切嚴禁し其起居飲食も常人の如くにし只内々に注意して危險なる物品などは傍に置かざる様にし恰も監視せざるが如くにして間接に之を監視するに在り此方法に隨ふときは大抵の癡癲は自然に治するものなりといふ但し是れには少なからざる費用を要して一般の人民には逆も望み難けれども高貴富豪の家に於ては造作もなきと云ふ可し賊胤子の

看護に就ては此邊の注意に遺憾なかりしや否や又か其性質のものに一種の體質の婦人を配合せしめ然かも此一事にても發狂を促すに十分なりとは醫家一般の説なりと云ふ相馬家當時の内情は一家の事にして他人の知る可き所に非ざれども今回の事件に就き凡そ此邊の事實は最も注目すべき要點なる可しと云へり

○國民協會の演說會解散せらる 國民協會の遊説員大岡育造、元田肇、和田彦次郎、新井肇、今井磯一郎の諸氏は同會幹事長安場保和氏と共に名古屋に赴き去る二十六日の夜同市本重町新守座に於て政談演說會を開けり聽衆は五六百名にして最初に庄林一正氏開會の趣旨を述べたるや早ノ一の聲は四方に起り次に曾根虎一氏登壇二三言口を開けば妨害を試みるもの多ク喧囂の間に壇を下り今井磯一郎氏に代りて壇上に現はれしも同様妨害の爲めに立往生を爲し次に大岡育造氏出でし何か陳せんとする際壇内益々喧囂を極めしを以て警官は遂に全會の解散を命じたりと云ふ

○市内循環鐵道敷設の議 曩に日本鐵道會社は東京市内に高架鐵道を築設して奥羽線と東海道線とを連絡せんと内決し今回總會に提出する山なるが愈敷設するもよしなれば至大なる便利を各地方の商工業者に與ふるものなるべきが甲武鐵道會社に於ては兼ねて市内鐵道なるものを敷設し專ら東京市民の便利を圖らんとして數年來計畫する所ありしを得ずして遷延今日迄來りたるが目下同會社の總路は已に三町町迄延長し萬世橋に達する日も甚だ遠からざるべく然るときは同會社の市内總路は五哩半以上に達し東京市内の五分五厘方を廻りて敷設したりと云ふも不可なきものゝ如し而して残り四分五厘を敷設して市内循環鐵道を完成せしむるは甲武鐵道會社の任務なりとて過般來重役及大株主の間に於て頻りに協議する所あり昨今に至りてその議極り設計の目論見も粗ぼ成りたるを以て昨日國會に設計書等を添へてその筋に差出したる由今その設計の大要なりと云ふを聞くに同社の飯田町停車場を起點としりより市區改正委員會の設計に成るべき新運河に沿つて神田今小路を經、竹橋に達する迄の間を高架鐵道を築設しそれより外濠の堤を利用して鐵道を敷設し神田橋、常盤橋、數寄屋橋を經て虎ノ門に出で赤坂門、市ヶ谷門を經て再び飯田町停車場に達せしむる都合にて總距離五哩十二鎮工費概算一百五十萬圓にして即ち一哩三十萬圓の豫定なりと而して停車場の如きは便宜増減變更するものとあるべしと雖も目下の豫定にては赤坂門、虎ノ門、幸橋、泉原橋、神田橋、一ツ橋等の見附及今小路に設置する筈なりと云ふ

○東京株式取引所臨時總會 の大要は既に前號の本紙に記載せしが更にその詳報を記載せんは一昨午午後四時三十分より開會し出席株主九十餘名權利數千二百七十二個、頭取大江卓氏議長に著き臨時株主總會を開きて定款改正案を討論するの理由、議案討論の順序及議事進捗の方法等を報告し且つ新定款に従ひて役員を撰挙するの件及新法實施前に定式總會を開きて一先づ決算報告を爲さるべからざる等のことを注意し終りて定款起草委員長中野武善氏は委員會に於ける経過を簡單に報告し起草の遅延せし所以を述べ三時角田の兩辯護士を顧問として法律上のことを諮詢し且つ仲買委員諸氏の意見をも參照して起草したる者なる

が詳細は質問に應じてり草案全體の質問に移應じて一々説明し逐條可を受くべき筈なれども上月全圖各地の取引所の定款に大相違なきもの模様を據りては本日たすやも圖り難し去れ

會を開きて諸君に協議を缺きて時機を失す査定委員を設けられしと述べそれより各條に修正せしめしと述修正に決定しそ

○東京株式取引所の認可を得たる上株主總會を開き新定利益配當の爲め可なへて生絲取引用とし取引品の神戸に到着取に一任するものと

○大坂昨今の金筋の認可を得たる上株主總會を開き新定利益配當の爲め可なへて生絲取引用とし取引品の神戸に到着取に一任するものと

○東京製紙株式後三時より日本橋俱十四名事務取締役官況を報告しりれより會計報告を爲さしめ

金九百五十四圓  
合計金八千四百六十三圓  
金二千圓  
金六百四十圓六十錢  
金六百四十圓六十錢  
金六百四十圓六十錢  
金三千五百圓  
金九百八十四圓二十二